

モンゴメリ 著 村岡花子 訳 「赤毛のアン—赤毛のアン・シリーズ 1—」 新潮文庫、新潮社刊 2008 年 2 月 25 日刊を読む

腹心の友

アンはりんごの花の花びんをかるくかたむけて淡紅色^{たんこうしよく}のつぼみにキスをしてから、また何分か一心にやりだした。しばらくすると、

「マリラ、近いうちにアヴォンリーであたしに腹心^{ふくしん}の友ができると思って？」

「ふく——なんだって？」

「腹心の友よ——仲のいいお友達のことよ。心の奥底^{おくそこ}をうちあけられる、ほんとうの仲間よ。いままでずっと、そういう友達にめぐり会うことを夢見てきたの。それがかなうと思っていなかったけれど、でも私のいちばんすてきな夢があんまりたくさん、一時にほんとうになったもので、たぶん、これもそうなるんじゃないかしらと思うの」

P100 ～ P101

[コメント]

「赤毛のアン」の村岡花子先生による日本語訳、第 1 巻の 101 ページ目、夢見るアンが最も望むのは「腹心の友」。心温まる物語のスタート。

— 2014 年 2 月 16 日 林 明夫 記 —